

京都ノートルダム女子大学 日本語教員養成課程 令和7（2025）年度 自己点検・評価報告書

京都ノートルダム女子大学
教育センター
(令和8年4月27日)

1. 教育理念・目標等

本学では、各学科等のディプロマ・ポリシーを定め、『学生便覧』や『学生手帳』のほか本学公式サイトに掲載して周知・共有を図っている。これらを踏まえ、たうえで日本語教員養成課程は、「日本語教員養成課程は、第二言語として日本語を教える体系的な知識・技能を有し、国内外の日本語教育現場において定められた日本語教育プログラムに基づき日本語指導を行うことができる日本語教師の養成を目的とする。」としている。

なお、2025年度入学者を対象とした日本語教員養成は、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律（令和5年法律第41号）に規定する登録日本語教員資格取得のための日本語教員試験の基礎試験免除資格を得させることを目的とする。

2. カリキュラム

1) 2024年度以前の入学者を対象とした日本語教員養成課程

2024年度以前の入学者を対象とした日本語教員養成課程（以下、「旧課程」）では、50項目を満たす科目に加え、本学独自の科目を設置している。各領域・区分において、それぞれ必要な単位数を設けており、以下の条件を満たしたうえで全45単位以上を修得することにより課程修了となる。文化庁の示す「必須の教育内容」を含むものに対応済みである。

必修：14単位

①社会・文化・地域：2単位以上

②言語と社会：2単位以上

③言語と心理：2単位以上

④言語と教育：6単位以上

⑤言語：8単位以上

合計：45単位以上取得

なお、実習授業（面接授業等）については、必修科目の履修で6単位以上・120単位時間以上履修することとしている。

2) 2025年度入学者を対象とした日本語教員養成課程（登録日本語教員養成機関）

2025年度入学者を対象とした日本語教員養成課程（登録日本語教員養成機関）（以下、「新

課程」は、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律施行規則（令和 5 年文部科学省令第 39 号）及び登録日本語教員実践研修・養成課程コアカリキュラム（令和 6 年 4 月 1 日日本語教育部会決定）の定めるところに基づき科目を設置した。

以下の条件を満たしたうえで全 25 単位以上を修得することにより課程修了となる。

- ・必修 8 単位
- ・選択必修については、以下のすべての要件を満たし、17 単位以上修得すること。
 - (1) 領域 2～領域 7 から各 2 単位以上、領域 8 について 1 単位以上。
 - (2) 領域 3～領域 7 から 4 単位以上。

3. 履修状況

令和 7（2025）年度の履修状況について、旧課程は 24 名が履修、修了者数は 6 名であった。平成 21（2009）年度の開設以来、合計で 263 名が履修し 179 名が修了した。

なお、新課程については履修希望の 5 名に対して選考を実施し 5 名とも合格、履修を許可した。

4. 履修支援

毎年度、履修生に対してオリエンテーションと履修相談を実施し、履修状況を把握するとともに履修支援を行っている。

2025 年度は、旧課程履修生対象オリエンテーションを 4 月 4 日（金）に、新課程履修生対象オリエンテーションを 4 月 3 日（木）と 1 月 20 日（火）に実施した。

また、本学が導入する LMS 上に履修生専用のコースを設定し、各情報の発信・共有や個別の対応を行っている。

5. 履修生の評価

授業アンケートを前期・後期の学期末にそれぞれ実施した。両課程の必修を中心とした主要科目に絞って見てみると、全体の回答率が 26.9%と低いものの、以下の項目で肯定的な評価が多く、おおむね適切に授業が行われていると考えてよかろう。

- ・授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であり、変更が生じた場合も適切に示されていましたか。94.4%
- ・成績評価の仕方が明確に示されていましたか。94.4%
- ・授業中に使う教材（テキスト・配付資料など）、教員の説明・話し方はわかりやすかったですか。77.8%
- ・教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進め、質問等には適切な返答がありましたか。94.4%
- ・この授業について主体的（熱心かつ意欲的）に取り組みましたか。88.9%

6. 進路状況

令和7(2025)年度修了者6名のなかで日本語教員として就職した者はいないが、うち2名が中学校の国語科教員として就職しており、課程の学びが活かされていることを期待する。

7. 運営

両課程の適切な運営のため、京都ノートルダム女子大学履修プログラムに関する規程の定めるところにより主任教員及び副主任教員を置き、必要に応じて教育センター運営委員会及び教育センター会議で協議を行っている。また、主要科目担当教員の情報共有等のため、適宜、ワーキングを開催(2025年度は、5月9日(金)と2月6日(木)に実施)し、両課程の改善に努めている。